

伝統は革新の連続である

日本の重要無形文化財の一つに歌舞伎があります。京都の文化を守るために活動されている京都館の小川薫堂館長はある日、老舗料亭を引き継ぐことになったそうです。その際に小川館長は、前オーナーから「伝統は革新の連続である」と言われ、今でもこの言葉をとても大切にしているそうです。私はこのことを偶然に知り、とても心を打たれました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止という大きな問題を抱えながら、新年度が始まりました。今、この小熊小学校においても、3月から臨時休業が続き、新型コロナウイルスは、教育そのものに大きな弊害として、私たちの眼前に大きく立ちふさがっております。

しかしながら、私たちはこの現実を受け止め、これまでと変わることなく、まずは子供たちの安心・安全な学校生活を守り抜くことを大切にしたいです。そのうえで、子供たちにとって、小熊小学校での生活が、「一生の財産」となるよう、会員の皆様とともに力を合わせていきたいと考えています。

「子供たちのために」というこれまで築いてきた伝統を変えないために、様々な工夫をして、変えるべきところは変えて、困難を乗り越えなければならない時であると考えます。小川館長が大切にされている言葉「伝統は革新の連続である」を胸に、全てのPTA会員の皆様方にとっても、大変な試練の時であることは承知の上で、子供たちのために、あえて力強いご協力を今一度、心よりお願い申し上げたいと存じます。